

武蔵野クリーンセンターに想う

武蔵野クリーンセンター OB 職員 石原雅典

三鷹市と武蔵野市による共同でゴミを処理していた武蔵野三鷹地区保健衛生組合「ふじみ焼却場」を、みなさんにご記憶でしょうか。この焼却場は当時、誰が悪いとは明言できない古いゴミ処理の考え方による低劣さから、一職員の目から見ても近隣へ迷惑をかけているような施設であったことが思い出されます。昭和59年(1984年)7月、経験者であるとのことから、仮称組合立第2処理場「武蔵野クリーンセンター」で勤務することとなりました。武蔵野市へ工場を建設すると聞き及んだとき、ほんとに現実になるのかと疑問視したものです。現実となり、赴任してから個人的に驚いたことは市民の方々への配慮でした。機器への対応は、異なるとはいえ基本は同じですので順応できますが、より以上の注意は公害面への対応など、管理上行うべきことに最大配慮することでした。例えば、一時的な臭気の漏えい防止、焼却時の排ガス管理等、試運転期間中ピリピリしていたことが思い出されます。設備の更新もいくつか行いながら30数年経過したことに感慨を覚えます。

クリーンセンターでの勤務拝命は長くなり、大きな出来事を思い出しますと数限りがありません。同程度の処理を継続するのであれば、老朽化対策のみ対処すればよいのですが、ダイオキシン対策や埋め立て配分量に関する処分場からの減量要請、資源化できないプラ類の焼却変更、これらの諸課題に運転を継続しながら、安定処理が継続できたものと懐かしく思い出されます。もちろん近隣住民の方々、多くの市民の方々によるゴミ減量運動の成果があって不可能が可能なものになったものです。

現在新クリーンセンターの建設工事が始まっていますが、新しい工場だから公害が出ないのではなく、管理職員の意気込みと住民の皆さんの協力(監視)があることによって、工場の持つ能力が発揮できると考えます。人の能力や機器の性能は使いこなすことによってより価値がより大きくなります。今までの経過を大切にしながら、新たな課題に挑戦してもらいたいと考えております。この場を借りまして、申し上げられなかったみなさま方に御礼申し上げます。

エコなお料理レシピ 冬のおすすめヘルシーメニュー



* 鮭の粕汁

- 材料(4~5人分) / 鮭の切り身(2~3切れ、あらでもよい。甘塩たらや牡蠣でも)、野菜(人参・大根・きのこ類・長ねぎ・じゃがいもまたは里芋)、塩少々・みそお玉2分の1弱、酒粕100g位(お好みで調整、顆粒だし少々)
- 作り方
①鍋に野菜類を入れて煮る。
②少し野菜に火が通ったら、鮭を入れ、顆粒だし少々加える。
③塩、みそ、水またはぬるま湯で溶いた酒粕を入れ、味がしみるまで煮る。
④仕上げに長ねぎの薄切りを(2cm位)を加え、できあがり。



*きのこの巾着煮

- 材料(4人分) / 油あげ4枚、きのこ(えのき、しめじ、舞茸などお好みで)、酒大さじ3、砂糖大さじ2、しょう油大さじ2、みりん大さじ2、水大さじ2、爪楊枝8本
- 作り方
①油あげを半分に切り、油抜きをする。中を広げ袋状にする。
②きのこ類を酒・砂糖・しょう油・みりんで煮る。
③味がついたらざるで汁をきる。煮汁は捨てずに鍋に残す。
④油あげの中にきのこを適量詰めて、爪楊枝で口を留める。
⑤先ほどの鍋に④を入れて煮る。油あげに味をつけてできあがり。
※油あげの中身は、卵やしらすきでもおいしいですよ。

* 編集後記 *

新クリーンセンター建設現場の仮囲いに、ブランコに乗った子どもたちの絵が大通りを飾り、注目を集めています。この絵は、「仮囲いアートワークショップ」で親子が作った作品です。夢のあるクリーンなイメージそのもので工事推進のはずみになればと願っています。(和田善一郎)

編集・発行 / 武蔵野クリーンセンター運営協議会
〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5 武蔵野クリーンセンター内
電話：0422-54-1221
●武蔵野市ホームページ
<http://www.city.musashino.lg.jp/>

*この広報は、再生紙を使用しています。

武蔵野クリーンセンター 運営協議会 だより 59

CONTENTS

- P1... 工事現場にアートワークショップ
未来にこぎ出せ! 夢ブランコ
工事中 NOW!
- P2... ごみから学ぶ ワークショップ広場 2014
- P4... クリーンセンターと私④ / エコなお料理レシピ / 他

武蔵野クリーンセンター運営協議会とは

1984年施設建設時に地域住民の安全と権利を守るために設置された周辺住民3団体が参加するクリーンセンター運営の監視役。

工事現場に仮囲いアートワークショップ 未来にこぎ出せ! 夢ブランコ

市役所北門前から中央通りに、新クリーンセンターの工事現場の白い仮囲いに、楽しげな夢ブランコが描かれています。

8月31日(日)にクリーンセンターで行われたアートワークショップで、市内の約60組の親子が作った人型を、市内在住のアーティスト長谷川仁さんが、ブランコにのせて仮囲いに貼り、1つの作品に仕上げました。クリーンセンターをより多くの市民に知ってほしい、新施設への関心を高めたい、クリーンセンターの歴史を次世代の子どもたちに継承していきたいという目的で制作されました。

1

長谷川さんの指導で、子どもたちが白いカッティングシート上にポーズを決め、大人が人型をなぞります。



2 好きな色のカラーシートを貼って形をつけていき、貼り終わったら切り抜いて完成。親子で協力する様子は楽しそうでした。



3 長谷川さんが、仮囲いに描いたブランコに人型をのせて仕上げました。

工事中 NOW

2014.10~12
地下を掘る掘削工事と煙突工事



山留工事をしながら、新工場棟の地下部分を掘る掘削工事を進めています。12月中旬にはごみピットの深さ21mまで掘りました。搬出した土は、さいたま市の秋ヶ瀬公園近くの荒川の堤防造成工事に使われます。煙突工事は、9月24日より外部足場を設置し、10月20日~11月中旬まで既存タイルの撤去、12月12日~1月中旬まで耐震補強の炭素繊維巻きが行われます。

*工事の進行状況は、クリーンセンターのホームページでもご覧いただけます。

●なおやマンのクリエイティブ・リユースショー



遊んで学べるステージショー「ガラクタ山のこびとたち」。



ショーの後は、なおやマンと一緒に廃材を使ったワークショップ。

ごみから学ぶ
ワークショップ広場

10月12日(日)、武蔵野クリーンセンターで、今年も好評の「ワークショップ広場」を開催しました。広いプラットホームを中心に会場を移し、より多くのワークショップを体験できるようにパワーアップ、約300名の来場者が楽しみました。

2014

●エコバッグ作り

●木工のブンブンゴマ



廃材と糸でブンブンゴマを作りました。協力/武蔵野自然塾



遊んで学べる
ワークショップ

ワークショップに参加すると、おもちゃのかえっこに使える「かえるポイント」がもらえます。ワークショップやおもちゃつりなどで遊んでポイントを貯めようと、子どもたちは会場をぐるぐる回って、ワークショップをいくつも体験しました。



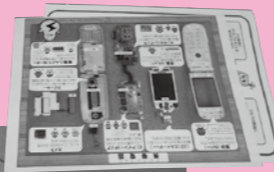
作ったエコバッグは、おもちゃや作品を入れてすぐ使えて便利。協力/ごみ総合対策課

●廃油でキャンドル作り

人気の空き瓶と廃油を使ったキャンドル作り。始めに廃油をきちんと処理する大切さを学んでから作りました。

●携帯分解教室・展示 協力/㈱リーテム

携帯電話を分解し貴重な金属の入った部品を取り出し、リサイクルについて学びました。



使った油は流さない
ください



●おもちゃのかえっこ

イベントの始まりと同時におもちゃを抱えた親子が殺到し、たちまち長い列をつくる人気のおもちゃのかえっこ。おもちゃを探す子どもたちは真剣そのもの。人気のおもちゃは、謎のカエルマンとじゃんけんタイムで決めます。欲しいおもちゃを手に入れようと力が入りました。



じゃんけん
ポーン!



どれがいいか
迷うなあ

すごーい!
ごみピットに
ごみがいっぱい!



●工場見学

クリーンセンターのごみ処理工場を見学。今年も大勢の方々が参加しました。



●おもちゃ病院

昨年大好評だったおもちゃ病院。壊れたおもちゃをおもちゃドクターが直してくれます。さまざまなおもちゃが持ち込まれました。協力/日本おもちゃ病院協会



●カフェとパンの販売

カフェおいしいパンの販売が加わりました。協力/クリーンむさしのを推進する会・パールブーケ



●おもちゃつり

新聞広告を丸めた釣り竿で、お菓子やカードをつります。小さい子にもすぐつれました。



つれたぞ!

●ネイチャーゲーム

敷地内に隠された「まちがい」を探して答えるゲーム。家族みんなで挑戦! 協力/武蔵野自然塾



●すてたいけど
すてられないモノ集め隊

来場者の捨てられないものを集めました。12月のイベントで展示しました。協力/TERATOTERA



●生ごみ活かす君の展示・お茶碗リユース

庭のない家庭でも使える「生ごみ活かす君」や堆肥で育った野菜の展示で、生ごみの資源化をアピール。いらない食器を持ち寄り気になった食器を持ち帰るお茶碗リユースはおなじみのコーナー。協力/クリーンむさしのを推進する会

今年は子どもたちもスタッフとして参加してもらおうと小学生と中学生のボランティアを加えたり、レジ袋で旗をたくさん作って環境イベントをアピールしました。今後もクリーンセンター運営協議会ならではのイベントを企画していく予定です。